

ORACLE WEBLOGIC SERVER 11g STANDARD EDITION

おもな機能と利点

業界をリードする Java
アプリケーション・サーバー

機能

- 柔軟性のあるダウンロード・オプションとインストール・オプション
- 重要な規格の完全な実装
- 業界をリードするパフォーマンス
- Oracle JDeveloper と Eclipse のサポート
- Oracle TopLink および Oracle Application Development Framework (Oracle ADF)
- 高忠実度のグラフィカル管理コンソール

利点

- 必要なものだけを取得およびインストール可能
- 互換性および相互運用性
- ハードウェア・システムの効率的な利用
- 開発者による選択、ジョブに適したツールの使用
- 最新のリッチ・エンタープライズ・アプリケーションをサポートする簡素化された開発
- 論理レイアウトと組込みのヘルプを使用した、容易で完全な環境の管理

Oracle WebLogic Server Standard Edition は、あらゆる規模の企業が使用できるアプリケーション・サーバーです。現在のリリースは、最新の Java Platform Enterprise Edition 5 (Java EE 5) の仕様と最新の Web サービス標準を実装しています。これによって、サービス指向アーキテクチャ (SOA) をサポートする開発の簡素化と相互運用性の向上が実現します。開発者は、主要なオープンソース・フレームワーク、商用開発フレームワーク、統合開発環境 (IDE) を選択できます。また、Oracle WebLogic Server Standard Edition は、信頼性、可用性、スケーラビリティ、および業界をリードするパフォーマンスを備えた、管理可能なランタイム・プラットフォームを提供します。

製品概要

Oracle WebLogic Server Standard Edition は、エンタープライズ・アプリケーションやサービスを迅速に記述するツール、およびテクノロジーを開発者に提供します。本番環境で Oracle WebLogic Server Standard Edition を使用すると、運用チームは、エンタープライズ・アプリケーションおよびサービスの稼働を維持する管理機能を得られます。

機敏性

変更への対応は、すばやくおこなう必要があります。Oracle WebLogic Server Standard Edition では、生産性を向上するために必要なものを、すばやくダウンロードおよびインストールできます。ダウンロードは迅速かつ柔軟に実行できます。また、ユーザーに固有の環境に対応したインストール・オプションを使用できます。全体の製品の取得およびインストールが非常に簡単になります。

開発の簡素化

Oracle TopLink と Oracle Application Development Framework (Oracle ADF)

業界標準のオブジェクト・リレーショナル・マッピング (ORM) ツールである Oracle TopLink は、データ・ストアに格納されている情報への高速で確実なアクセスを可能にします。顧客情報、価格、およびユーザー・セッションを越えて維持されるほかの重要な属性の取得および保存は、エンタープライズ・アプリケーションに不可欠なテクノロジーです。Oracle TopLink テクノロジーは、すべての Java EE アプリケーション・サーバーが実装する Java 永続性標準の基盤です。

Oracle ADF は、設計時フレームワークです。開発を簡素化し、SOA サービスとリッチ・エンタープライズ・アプリケーション (REA) をサポートする Web インタフェースを提供します。開発者は、オープンソースの Spring Framework を含むいくつかの一般的な開発フレームワークも活用できます。

Oracle JDeveloper と Oracle Enterprise Pack for Eclipse (OEPE)

この選択は、オープンソース開発製品および商用コードの両方に対するオラクルのサポートを反映しています。開発者は、Oracle Fusion Middleware を補う Oracle JDeveloper 統合開発環境 (IDE) の完全性か、または Eclipse ベースのツールとオラクルがサポートするプラグインを使用するかを選択できます。

FastSwap

多くのツール・オプションを提供するだけでは不十分です。Oracle WebLogic Server Standard Edition には、開発-配置-デバッグ・サイクルを大幅に削減する FastSwap 機能が含まれます。アプリケーションまたはサーバーを再起動せずに Java クラス・ファイルを更新し、迅速に開発中のアプリケーションへの変更を適用する機能によって、時間が節約されます。通常、再起動やアプリケーション状態の損失によって費やされる時間が、大幅に削減されます。

HTTP パブリッシュ・サブスクリブ・エンジンおよび Oracle WebCache

多くのユーザーは、最適な Web アプリケーションと従来のデスクトップ・アプリケーションを組み合わせたりッチ・エンタープライズ・アプリケーション (REA) を配置しています。Asynchronous JavaScript and XML (AJAX) は、高いユーザビリティのクライアント・アプリケーションを実現する一般的なテクノロジーです。サーバーについては、Oracle WebLogic Server Standard Edition は、REA と非同期に通信できる HTTP パブリッシュ・サブスクリブ・サーバーを提供しています。これによって、ユーザーがブラウザまたは Web アプリケーションをリフレッシュすることなく、サーバーからクライアントに最新情報の更新を提供できます。

Oracle WebCache は、低帯域幅ネットワーク上でも HTML および XML 情報を効率的に圧縮します。これによって、ネットワーク・トラフィックが軽減され、最新の REA アプリケーションが円滑に配信されます。

簡素化された開発の機能と利点	
Java EE 5/EJB 3.0	EJB テクノロジーを大幅に改良した開発のしやすさに焦点を当てた最新の仕様です。
FastSwap	アプリケーション開発の効率性を向上するために開発-配置-デバッグ・サイクルで費やされる時間を削減します。
Oracle TopLink	すべての Java アプリケーションで使用できる重要なオブジェクトをデータ・ストアに格納する効率化されたメソッドを提供します。
Oracle ADF	リッチ・エンタープライズ・アプリケーションおよび SOA ベースのアプリケーションの生成を簡素化します。
Oracle JDeveloper	Oracle Fusion Middleware の主要な開発ツールとフレームワークを活用します。
Web サービス標準	SOA をサポートするための基本テクノロジーである重要な規格の更新を含みます。.Net との相互運用性があります。
オープンソースの選択	Struts、Spring Framework、およびほかのオープンソース・プロジェクトなど、すべての開発のニーズを満たすオプションを開発者に提供します。
高性能の JMS メッセージング	アプリケーション間の通信のための非常に高速で信頼性が高い、標準ベースのメッセージ・システムです。送信者および受信者の実装の詳細を把握することなく、開発者はメッセージを作成および(または)使用するアプリケーションを記述します。

優れた管理性

新しいアプリケーションおよびサービスの開発の簡素化は、問題の半分に過ぎません。信頼性の高い管理可能な環境で配置および実行をおこなう必要があります。実行中のサーバーの変更をおこなう際にオペレーション・スタッフによる人為的なエラーが発生すると、顧客のロイヤルティと収益に大きな損失を与える可能性があります。

この課題に対処するため、Oracle WebLogic Server Standard Edition では、引き続き徹底的にアップタイムを追求しています。管理コンソールには、不注意によるエラーを防止する Change Center、またコンソールのドメイン構成の変更を自動的に記録する機能などが含まれており、Oracle WebLogic Server のスクリプト・ツールを使用して、単一のコマンドで再現できるようになっています。これによって、繰り返しの手順を実行する場合の潜在的なエラーを削減できます。

また、Oracle WebLogic Server Standard Edition の診断フレームワーク (WebLogic Diagnostic Framework - WLDF) と、対応する管理コンソールの拡張機能 (稼働中のサーバーからの診断情報を表示) も改善されています。管理コンソールには、Spring Framework で記述されたアプリケーションをサポートする拡張機能も含まれます。管理コンソールのロック・アンド・フィールのカスタマイゼーションは、簡単に適用できます。

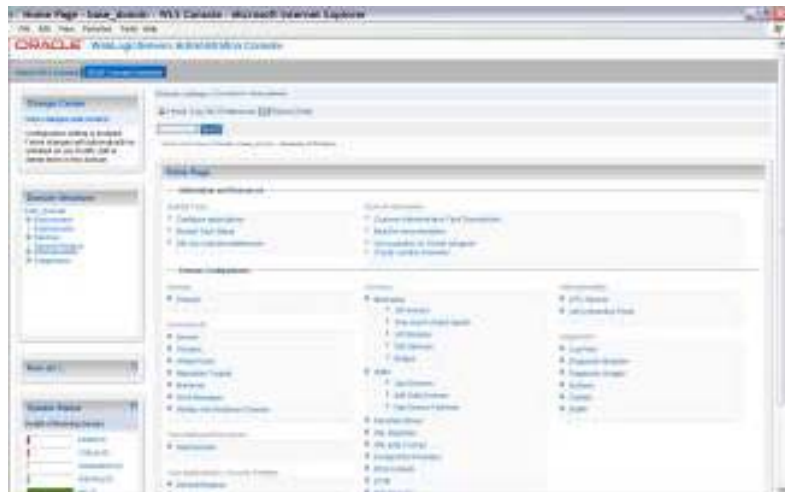


図 1. WLDF 拡張機能をもつ Oracle WebLogic Server 管理コンソール

管理性機能および利点	
管理コンソールの Change Center	Oracle WebLogic Server Standard Edition 管理コンソールの Change Center の Lock-and-Edit 機能により、構成変更時の人為的なエラーを防止します。サーバーが提案された更新を受け入れることができない場合のロールバックを含みます。
管理コンソール構成の変更を自動的に記録	Oracle WebLogic Server Standard Edition 管理コンソールのドメイン構成変更の繰り返しの自動的に記録し、Oracle WebLogic Server のスクリプト・ツールの単一のコマンドで再現することで、時間を節約して人為的なエラーを削減します。
以前のリリースからのアプリケーションのアップグレード	以前のバージョンからのアプリケーション・アップグレードと製品バージョンの相互運用性をサポートして、アプリケーション・アップグレード分野のリーダーシップを引き続き維持します。

関連製品

Oracle WebLogic Server Standard Edition は、業界最高のパフォーマンスと簡単な管理を提供するアプリケーション・サーバーです。ほかの Oracle Fusion Middleware 製品は一体化して、完全な統合機能セットを形成し、さまざまなビジネス・シナリオに対応します。

関連製品

Oracle WebLogic Server Standard Edition は、以下の製品を使用して拡張できます。

- Oracle Enterprise Manager Diagnostics Pack
- Oracle Coherence Standard Edition

高速ランタイム・エンジン

Oracle JRockit Java 仮想マシン (JVM) が組み込まれ、エンタープライズ・サーバー上で最適化された高パフォーマンスを実現します。

サポートされているプラットフォーム

Oracle WebLogic Server Standard Edition は、Java Database Connectivity (JDBC) ドライバを使用して、さまざまなデータベースに対して包括的なアプリケーション接続性を提供します。

サポートされている特定のプラットフォームと構成の詳細については、以下のドキュメント・ハブを参照してください。

oracle.com/technology/documentation/index.html.

サポートされているプラットフォーム	
ソフトウェア	
オペレーティング・システム (32ビットと64ビットをサポート)	<ul style="list-style-type: none"> • AIX • HP-UX • Linux • Solaris • Windows
データベース	<ul style="list-style-type: none"> • Oracle (およびOracle Real Application Clusters) • IBM DB2 • Microsoft SQL Server • MySQL • Sybase
Webサーバー	<ul style="list-style-type: none"> • Apache • Microsoft IIS • Oracle HTTP Server • Sun Java System Web Server
Java	<ul style="list-style-type: none"> • Java Platform, Standard Edition 6 • Java Platform, Enterprise Edition 5

お問い合わせ

Oracle WebLogic Server Standard Edition について、詳しくは oracle.com を参照するか、+1.800.ORACLE1 でオラクルの担当者にお問い合わせください。



Oracle is committed to developing practices and products that help protect the environment

Copyright © 2009, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は一切間違いがないことを保証するものではなく、さらに、口述による明示または法律による黙示を問わず、特定の目的に対する商品性もしくは適合性についての黙示的な保証を含み、いかなる他の保証や条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクル社の書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle は米国 Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。0109